

刊夕 日七廿月七

常磐每日新聞

定価 一部全紙 月金五拾銭 郵費五拾銭
 廣告料 五號十二字 日一行 金五拾銭
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社
 電話 六三〇番

子供と清遊 (二)

谷口 安比呂

僕は丁度、携帯用チャオ
 ンキを持つてつたので、早
 速五、六面のレコードをか
 けた。「ほんとに此れは、耳
 の御馳走ですわね」と三
 十代の叔母さんは言った。
 愛嬌といふは、義理にも嬉
 しい。

やがて、幼稚園生徒の小
 手調べとなる。みな園児は
 庭の敷いたお庭に下りて、
 童謡をすべく待つてゐた。

園長さんが、先づ神様に
 感謝のお祈りをささげ……
 其れから園児の、讚美歌に
 なる。

うるはしき朝も
 静かなる夜も
 たべもの着物も
 たまはる神様……

(以下略)

うまいものだ——人間の

食パンを
 奇麗に切
 るには庖

丁を火で熱して切るとよ
 。

雛のやうな、豆あんちゃん
 チビ嬢ちゃん……雀のや
 うにピーチク口をひらき、
 見事な合唱を仕とげる。
 園長「皆さんはトテセお
 上手ですから、今度は先生
 がお話しませう。」

昔々、大きなお山があり
 ました。その向ふに、より
 大きい山がありそのまた向
 ふに、もつと大きい山。又
 その向ふに、もつと……大
 きな山……と、笑はし始
 めてから、動物の爲めにな
 るオトギ話を、面白く、
 抑揚つけて語る——子供ら
 は他愛なくキャツ／＼笑つ
 てゐる。

園長「も少し、皆さんの
 お上手な、唱歌を唱つて下
 さう！」

明日の献立

【朝】味噌汁—ねぎ 小付
 梅干

【晝】みそつけやき 魚

【晩】うどん ごまたれ

「はい、はい、はい」
 と言ふ譯で、又雀の合唱が
 始まる。今度は手振り足ぶ
 りも加へ。

一、キューピーさん／＼
 なにを其んなに、おど
 ろいて 大きなお目め
 を みなバット開けて
 しろくろさせて立つて
 ゐるの…… (下略)

園長「もー一つ」
 生徒等「波がくる／＼」
 波が来る
 なみのあとから波がくる
 さんぶり／＼さんぶりこ
 …… (下略)

園長「もつと何か唱ひます
 か？」
 生徒「もうお終ひ！」
 園長「はー其うですか、で
 は是で終ひませう」校長先
 生が、生徒に指揮を仰いで
 お終ひ……。幼稚園なれば
 こそと思ふ。親たちが、相
 好くづして微笑む。

小曲

日かげの草

松村 英吉

悲しきは垣根の小草
 或る夕風にたふれぬ

されど小草地にはらばひ
 て

悶えつゝ空を夢見る

蚊帳釣草

大沼 寂

蚊帳釣草

しみじみとありしかの日

君の指思ひおこしぬ

漂泊の果のふるさと

大空は今も青けれ
 ろんろんと海もなるなれ
 しかれども住人はむなし

悲しさに風の如くに

草を噛み 丘に嘆けば

淋々とわたる秋風
 さめざめと土もなげきぬ

土用丑の日 大賣出し

柳川 一人前 金二十五銭
 うな井 金三十五銭
 蒲焼 金五十五銭
 右大々勉強出前迅速
 ◎滋養豊富!!!風味美味!
 是非一度御試食を……
 大蒲焼・鳥料理
 折詰仕出し 魚 榮
 田町(電話四二四番)

二十九日土用丑の日

吉例により

牛肉大賣出し

是非御用命下さい、多少に拘らず御届け
 致します

三二二三屋
 平田・電三二三

吉例土用丑

牛肉大賣出し

是非! 滋養豊富な牛肉をおすゝめ致します
 御用命は……電四三番へ

平田町 石川亭

新特約三菱ノ……

菊菱號自轉 (全部マーク入) 實用堅牢車

平局御用 エビスヤ自轉車店

平南町 電話六六四番

▽来る二十九日は弊店に取つて初めて
 の土用丑の日に付

蒲焼

うな井

うな重

特に大勉強致します

是非御用命願ひます

かばやき 五十銭
 うな重 五十銭
 うな井 三十五銭
 うな巻玉子 二十五銭(二人前用)

平二警察署通り
 魚清食堂部
 電話六三三番

喜多流謠曲と仕舞の お稽古をお勧め致します

平田町九六
 喜多流 謠曲 白土會
 喜多流 仕舞

◇詳細は本會へ御問合せ下さい 電二二七番

平商を甲子園に出陣せしめよ

一日四錢の副食物で涙ぐましい選手等の苦闘

平町の同情を熱求

「平商野球部が東北大会に出場する」——これは獨り平商フアンの喜びばかりでなく實に平町の誇りでもある、同チームがこの榮譽を獲得した際には實に血の涙む様な

中を屠つて決勝に福師と對し不幸選手の疲労から吞舟の代表として甲子園原頭眞紅の大優勝旗を目指して仙臺に出陣するので

各選手は昨日までの苦闘も忘れてけふより再び決然として猛練習に参加してゐる「平商を甲子園に送れ！—今や平町は嵐の如くまさ起る叫びに満たされて

自費覺悟で熱烈な指導

平商のコーチチャー 感謝する

別項來月一日より仙臺市に催される中等學校東北豫戦に本縣代表として出場する平商ナインは一月餘に亘つて合宿せる大村屋旅館で昨日同校後援會役員の激勵を浴び乍ら散會し懐しの吾が家に引揚げたが同チームの専修大學選手築地、櫻井兩コーチチャーは東北大会出陣に専念し感謝的となつて居る

鐵道事故 防止委員 小名濱で協議

平驛では今二十六日午後一時から久之濱漁業組合事務所樓上で過般制定された事故防止委員四十名を招集して第二回協議會を行つた

各講習出席者 平第二小學校では夏期休暇中に於ける各種講習會の出席訓導を左の如く決定

（静岡縣御殿場町の國民獎勵會講習）金澤、熊谷、安藤三氏（東京美術學校の圖書講習）橋本訓導（仙臺東北市大の國語級方講習）金澤、古市、渡邊、海野の四氏（福島師範學校の國語講習）清野、古市の兩氏

陸上競技 出場選手 卅一日出發

來る八月一日白河中學校グラウンドに於いて舉行される縣下中等學校陸上競技大會へ出場の警中及び平商選手は愈々來る三十一日平發午前五時四十二分各係教諭引率の下に出發するが兩校選手は左の如くである

（警中）吉田秀男 鈴木計 北郷通 井上操 秋元且 吉 吉田康吉 小野健一 藁谷弘 伊東義郎（平商） 木村勝美 菅野正 阿久津勳 澤田良彦 西山正行 蒲田力之助

明日公開 「舞踊の夕」の練習板に付く

既報平第二小學校の「舞踊の夕」は明廿八日午後七時から講堂で催されるが父兄を前にしての實演の事として出演児童は本月初旬頃から大意氣込みで練習を積み舞臺監督ならぬ受持先生の嚴重なテストを幾回となく受けた結果今ではいづれも演技が板に付いたが同校では明日午前中更に實演其儘の豫行を行つて愈々夕刻より開演の手筈であるが本年は東部電力より照明器の外扇風器平製水よりは氷柱等篤志家二名よりの寄附があり一般參觀者の爲めに利用される

明日公開 馬の猖獗を極めてゐるに鑑み今井専任技手をして檢診を行はしめ豫防に萬全を期してゐる折柄昨日またく左記二頭及び疑似症二頭を發見眞症は直ちに屠殺處分に疑似症は舍外引出禁止を命じた

▼眞症田村大字黒田小宅

故矢吹教員遺族の 寄附金で校旗新調

平第二小學校裁縫教師在職中に貯金一萬餘圓を残して病死した矢吹キク氏の相續人彌右衛門氏は同校に百圓寄附したので最近校旗を新調する事に決定し近く三越本店に注文する事になつた同氏は本月三十日同校全職員を新舞子海岸に招待して盛なる學期末清遊會を開く

佐藤校醫提案 平第二小學校の齒科校醫佐藤武之氏は本日午前十時より若松公會堂に開かれた縣下各學校齒科校醫會に出席左記を提案した、學校に於ける各學年教授細目中に適當なる衛生教材を加ふる

平町 人 事

△十五丁目四 勝義氏二女 志賀民子さん(一ツ) △彌宜町二四 フヨさん長女 島岡セツ子さん(一七)

制覇の 前には何事も 忍んで闘ひ抜き而も強

貧血馬が 益々蔓延

石城郡産馬畜産組合では最近管内に於いて傳染性貧血

夏期施設打合 既報 平第一小學校では本日海濱學校係井上、横田兩訓導は四倉小學校等に出張最後の下見分を行つた、尙湯の岳登山班の大和田、松崎兩訓導も箕輪小學校へ出張打合せた

平一百一面鏡

乾燥若芽 滿洲で大好評

平材木町大鶴屋では此程店主金成泉一郎氏多年苦心研究になる乾燥若芽を新發賣福島縣廳商工課の斡旋に依り滿洲を始め各地の見本市に出品したところ寒國の最適品として頗る好評を博したので商工課では更に陸海軍に納入すべく斡旋中であるが同刻若芽は永久不變のもの水洗又は切る必要なく其儘使用出来るので需用者より歡迎されてゐる

丑の日に 牛肉や鰻

三二三屋、石川兩牛肉店や魚清、魚榮では來る二十九日が土用の丑の日に當るので牛肉や鰻の吉例大賣出しを行ふべく目下準備中であるが當日は各店共特に勉強し電話次第多少に拘らず敏配達

アレ丈の人出に 収入が割合少い

儲けたのは自動車屋と 平驛羨ましががる

三日に亘る野球大会の観衆殊に決勝戦の二十五日は平町空前の人出といはれてゐるが大会を挟む前後五日間の人出の跡を平驛の

乗降客に 偲んでみると降客合計四千七百九十五人と昨年同期の五千三百七十七人に比し五百八十二人を減じてはゐるが乗客合計は五千八百九十二人で昨年より百八十四人を増しこの賃銀合計八千六百三十六圓二十銭は

晴天續きの上に減法暑かつた爲め日帰り海水浴客が非常に多かつたのでこの野球大会の観衆が平驛に目白押しを踏むを見せた割に収入がそれ程目立つて殖えませんが、野球の方は

自動車の 方にとられてゐるし、天候は悪くて海水浴客は出ないし散々です、自動車屋は凄く儲けた様ですわね」ととひどく自動車屋を羨んでゐた

土用の丑の日に……

平驛から臨時列車

涼味のうちに土用は容赦なく訪れ、土用中の楽しみである丑の日も明後日に追つた平驛では丑の日の二十九日から八月十九日まで平、久之濱間に左の如く臨時列車を運轉して浴客の便を計る事になつた(但し雨天その他悪天候の場合は休止)

▲平驛發(久之濱まで)
午前七時五十分(波立薬師裏停車) 同九時四十分(廿九日、八月五日)
同十二日は波立薬師停車
▲久之濱發
午前八時五十分
午後四時十五分

▲平驛發(久之濱まで)
午前七時五十分(波立薬師裏停車) 同九時四十分(廿九日、八月五日)
同十二日は波立薬師停車
▲久之濱發
午前八時五十分
午後四時十五分

▲平驛發(久之濱まで)
午前七時五十分(波立薬師裏停車) 同九時四十分(廿九日、八月五日)
同十二日は波立薬師停車
▲久之濱發
午前八時五十分
午後四時十五分

▲平驛發(久之濱まで)
午前七時五十分(波立薬師裏停車) 同九時四十分(廿九日、八月五日)
同十二日は波立薬師停車
▲久之濱發
午前八時五十分
午後四時十五分

▲平驛發(久之濱まで)
午前七時五十分(波立薬師裏停車) 同九時四十分(廿九日、八月五日)
同十二日は波立薬師停車
▲久之濱發
午前八時五十分
午後四時十五分

▲平驛發(久之濱まで)
午前七時五十分(波立薬師裏停車) 同九時四十分(廿九日、八月五日)
同十二日は波立薬師停車
▲久之濱發
午前八時五十分
午後四時十五分

酒屋さん 貸賣御注意 欺名で詐欺

内郷村高坂字御厩居住東白川郡石井村生れ探炭夫前科

馬が主人を 轆き殺した

泥酔して荷馬車の上に
居眠り中をゆり落す

主家を食ふ 白鼠の片破れ

明廿八日公判

窃取した自轉車で 乗り逃げ中を捕る

各所を荒した少年白浪

看護婦急派 の求めに應 じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

明日のラジオ

廿八日

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
齊唱と合唱 J.O.A.K. 唱歌
隊
後六、二五 講演「邦人の海外発展について」拓務局長 高山三平
後七、三〇 講演現代日本文化の史的考察 文學博士 土藤懸靜也

今晚も明日も北東の風曇り

前四、三〇 近畿地空演習機戦況 大阪防衛司令部 神戸大倉山 大阪城天守閣 守口附近飛行機上より中継
前七、二〇 聖典講義 (一) 加藤咄堂
前九、一〇 料理献立「鳥賊と胡瓜のサラダ」佐藤百合子發表
前一〇、三〇 家庭婦人講座「筆曲(終)宮城道雄座」
後〇、〇五 新日本音楽令明音楽會
後二、〇〇 家庭講座「疾病から見た東北の温泉に

就て「阿部忠一」
後五、〇〇 職業紹介事項
後六、〇〇 (子供の時間) ハーモニカ合奏 仙臺タイイ
後七、三〇 少年少女の夕獨唱と齊唱 伴奏アルメリア管絃樂團
送話劇「殿様豆腐」東京放送童話劇協同會
お琴 米川康男外
家中の人の聞ける時間
お話「アラエター」徳川夢聲
後九、〇〇 時事解説

二十六日午前五時頃鹿島村字御代坂地内に頭部と足部が無残にもつぶされて血まみれになつて即死してゐる男あるを通行人が発見駐在所に届け出たので調査の結果右は同村字下倉持荷馬車挽山邊松男(三三)と判明したが松男は前夜泥酔して小名濱から歸宅の途次荷馬車の上で居眠り中誤つて顛落自らの車に轆かれたもので主人を轆いた馬は畜生の悲しさ己が主人を殺したことも知らず空車をひいてそのまゝ家に歸り寝てゐたと

曾我氏に謝状 前平第一小學校長曾我直治氏は在職中の功勞で過般三春町小學校に開催された縣下小學校長會議に於いて記念品に添へて感謝状を贈られ本日平第一小學校に届いた

時局批判講演 立憲養正會石城支部では廿八日午後六時から小名濱小學校に於て時局批判講演會を開

既報平町三丁目伊關吳服店の白鼠の片破れ栃木縣那須賀郡境村生れ荒木明(三三)假名が昨年五月より來月上旬迄の間同店の賣掛金を百廿八圓に亘つて七百五十九圓を窃取した外六十圓回圓に亘つて反物類八十六反、代

去月廿五日平第三小學校に忍入らんとする處を警戒中の平署員に檢舉された河沼郡坂下町字中町生れ住所不定窃盜前科六犯高橋喜代次(三三)の第一回公判は本日午前十時より平區裁判所法廷に於いて中島監督判事係り吉岡檢事立會のもとに開廷檢事の求刑通り懲役一年を言渡された

浮名新立頭

田邊南龍(作)
山本英春(書)

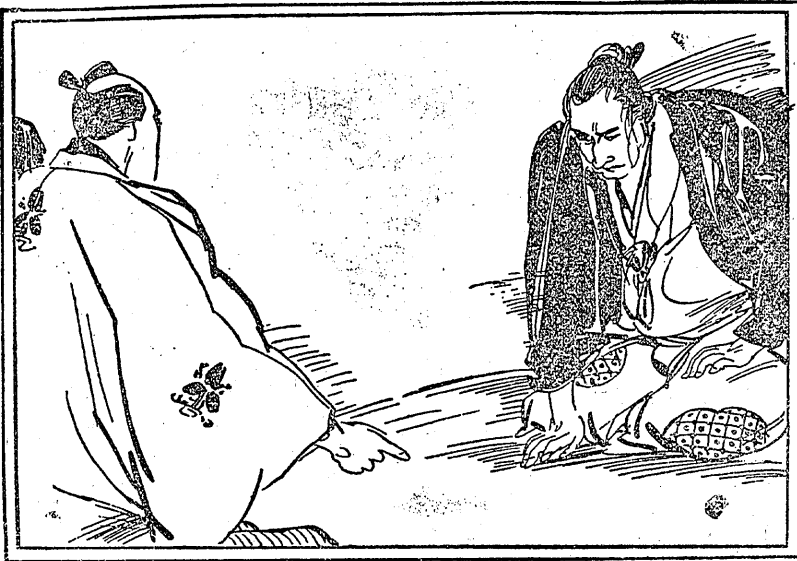
九四

五人で飯だゝみへ
東の溜りへ引込む、見物
一同は唯喝采とばかり稱め
そやして居る、スルと東の
棧敷に居た水野十郎左衛門
の面々は、扇子を額へ當て
ゝ居る、長坂血槍九郎は兩
手を頭から被つて、其れへ
つツ伏して居ります、ドト
ンカドカ／＼と打出しの太
鼓が鳴る、客人は裸になつ
て

「ヤイ十郎左衛門手前達は
小ッ旗本だから黒鷲に旨え
ものが食はされねえから負
けやがつた、櫻川は食ひも
のが宜いから投げられやア
しねえのだ……ポンポチ米
を食はして居るから、黒鷲
などは投げられるんだ、
屋敷へ歸つたら鰻の頭でも
食はしてやれ」

なんぞといつてゐる、長
兵衛は櫻川及び身内の面々
をつれて淺田屋といふ料理
屋へ来てお酒を飲みはじめ
た、十郎左衛門を始めとし
て一同の人々は巴屋といふ
料理屋へ来てお酒を飲みは
じめましたが銘々下俯むい
て茫乎して居る
「黒鷲を呼べ、勘太夫を呼
べ」
「へエ」
弟子の鴛鴦次郎吉、松

兼右衛門の二人を供に連れ
て二階へ登つて来た勘太夫
「コレ勘太夫これへ座れ、
今日の相撲は勝たのか負け
たのか」
「へ……」
「勝たのか負けたのかよ。」



斯ういふ事があつては、旗
本八萬騎の耻になるから、
向島へ花見に行けといつた
のに、其方はなんといつた
大層なことを云つたではな
いか、然るに今日の始末は
何事だ、土俵の外へ足を片
ツ方出したとか一緒に倒れ

て下になつたとかいふなれ
ば末だしも、糠俵でも扱は
れるやうに、土俵の外へ投
げ出されるといふは何とい
ふ状況だ
「恐れ入りました」
「見物どもは何といつた碌
なものを食はせなから負
けたのだ歸つたら鰻の頭で
も食はせろと此方どもへ耻
辱を與へ居つたではないか
サア約束通り手討ちにする
から覺悟しろ」
「マア水野待ち給へ、貴公
は短氣で不可ん、此處で手

を頼んで置くから、明日屋
敷へ來なさい」
「へエ畏まりました、今更
土俵は上れませんが、といつ
て國へ歸つて百姓も出來ま
せせん、却つて御手討ちの
方が有難う存じます」
「今晚は跡取り片付けの用
もあるだらう、サア先へ歸
らつしやい」
「エーッお盆はない、下へ
往つて水でも喰らへ」
「據んどころなく黒鷲は情
／＼と宅へ立歸り、金子を
十兩脇差を一本三人の前へ
出して

「サテ三人、十兩は小遣ひ
脇差は遺品だ、着物は箆筒
の抽斗にあるによつて、紋
付でも下着でも氣に入つた
ものを着て行つて下さい、
思ひ出したときは線香の一
本も立つて呉れるやうに、
俺はもう明日限り見とめ
の付いた身體、ア、情
ないことである」
「親方然うぢやありません
めえ、入谷田圃の庚申堂邊
りに待ち受けて櫻川をお殺
んなさるのぢやアありません
んか」

花柳外科 柳科 科病柳花
木村外科科専門院
際橋目丁六町平 あり便の院入炊自
香九〇三話電

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎 回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

難波 陸
内科一般
醫學博士 難波 陸
平町大町新川端
電五〇二

夜間
胃腸科 内科
胃腸病科
花柳病科 性病科 皮膚科
松村性病科専門院
(番七〇一電町南町平)

すばらしい新型の
婦人子供服豊富
一流デパート専屬の婦人子供服製
造元よりの直仕入たる新型服は店
内豊富に陳列してございます。夜
の御散歩には是非店内を御自由に
御覽下さい。
平町二丁目
山家メリヤス店
電話六〇五番

外科全般
特ニ内臓外科及び内、外、兩域疾患
醫學博士 渡部 義夫
小兒科、内科 女醫 渡部 さい子
平町役場前 [電話二七七番]
渡部外科
入院應需 診療午前八時ヨリ午後九時マデ